

9月にあったスマホ、インターネット等に関するニュース一覧

28年9月の各新聞等に掲載された記事の中で、今年度の「青少年のネット非行・被害対策情報」で未配信の情報を一覧にしました。

9/6

《位置情報ゲームについて》

7月末の位置情報ゲームの登場で、位置情報を利用したゲームに注目が集まっている。家の中でテレビ画面を見て遊ぶのではなく、いろんな場所に出かけて楽しむのが特徴。最近では地域の活性化に活かす動きもあり、可能性が広がっている。

(主なゲームの内容)

- ・街を歩いてあらわれたモンスターを捕まえる。
- ・2陣営に分かれ、名所などの拠点を奪い合い陣地を広げる。
- ・移動した距離に応じて通貨が手に入り、アイテムと交換して仮想空間での街づくりをする。
- ・区分けされた「国」を治めるゲーム。訪れた場所の位置情報を送ると自らの勢力下にできる。
- ・交通系ICカードを読み込み、訪れた駅の数でアイテムを入手できる。(参考：朝日新聞)



9/8

《子どものSNS 安全策は》

気軽に会話できる一方で、いじめや犯罪につながる恐れも指摘されるSNS。スマホの利用が子どもの間でも広がる中、危険を減らす取り組みも出てきている。

(事例①)

＝「バカ」「KY」等を含むメッセージが来たら親に通知するスマホ用アプリ＝

親子がスマホにアプリを入れると、決まった単語を含むメッセージが子どもに届いた際、親に単語・送信者名が通知される。対象となる単語は悪口や暴力に関する約2万語。

子どものプライバシー侵害等を指摘する反対の声もある中、43組が参加した4月から7月までの実証実験の結果によると、2000件余りの通知が親に届いた。

(事例②)

＝SNSで使用する「スタンプ」をつくる＝

全校生徒が考え、生徒会役員で検討した10分野40種のスタンプ案を美術部員が制作した。

このスタンプ作成の過程で、「スタンプを見た相手はどう思うか」、「相手に感じ悪く感じられない会話の終え方は・・・」、「言われてうれしい言葉は・・・」等を考えることができた。

SNSは正しく使えば役立つ道具。スタンプ作りを通して円滑なコミュニケーションを考える機会になればと学校側は考えている。(参考：朝日新聞)



9/21

《脅迫ウイルス理解不足》

「ランサムウェア」とは何か・・・情報セキュリティ会社が、企業などのIT担当者にこの質問したところ「理解している」と答えた人は半分以下だったことがわかった。

※「ランサムウェア」とは、脅迫型のコンピューターウイルスで、感染させたパソコンのデータを勝手に暗号化したり、ロックをかけたりして「金を出せば復旧する」等と要求する犯罪に使われる。

(参考：福井新聞)



9/21

《「ながらスマホ」防止策》

車の運転中にスマホ画面を裏向きにした状態で一定距離走行すると、ある喫茶店チェーンのコーヒー杯と交換できるクーポンが手に入るアプリが開発された。

スマホ画面を伏せ 10~80km/時で走ると、画面上のカップにコーヒーが1滴ずつしたり落ち、走行距離が200kmに達するとクーポン1枚が手に入るもので、スマホ内蔵のジャイロセンサーと衛星利用測位システムで位置を計測するもの。当面は愛知県内のみで実施。

(参考：中日新聞)

【最新のネット詐欺情報】

この夏頃からアンケートに見せかけたフィッシング詐欺が流行しているようです。

「アンケートに答えると、お礼に動画配信サービスが無料で使えます。」と画面に突然表示され、個人情報やクレジットカード情報の入力を促してくるものです。今回の詐欺は、ブラウザの種類に応じて表示を変化させているので、Android や iOS のスマホ利用者も標的となっています。



質問です。

「スマホは1日に何時間使いますか？」

「ありがとうございます。この画面に必要な事項を入力してください。」

「動画の無料配信が使えるようになります！」

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 金森

☎:0776-20-0745 (直通) ✉:m-kanamori-mi@pref.fukui.lg.jp